

研究課題(テーマ)		生物工学科卒業生による県内企業の魅力発信	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	生物工学科	教授	生城真一
	生物工学科	教授	金井保
研究結果の概要			
<p>富山県立大学工学部生物工学科および大学院工学研究科生物・医薬品工学専攻の卒業生・修了生の中で、富山県内企業へ就職する学生数をさらに増加させることを目的とする。そのために、研究室配属間もない生物工学科学部3年生および博士課程前期1年生を対象として、これまで重視してきた製薬、食品の企業を中心として生物工学科の強みである化学と生物の両分野を重視する富山県内の企業で活躍する卒業生を招き、企業紹介・交流会を行い、富山県内の企業への関心高めることを目的とした。</p> <p>富山県内の化学系企業2社(日本カーバイド工業株式会社、十全化学株式会社)からは講師を招聘し、それぞれの企業の特長、業務内容、生物工学分野との関連性について紹介していただいたのち、自由形式で質疑応答を行った。</p> <p>各回の出席者は、それぞれ37名、8名であり、終了後のアンケートでは、当該業界の企業に関心を持ったか、富山県内の企業に関心を持ったか、など学生の意識変化を調査した。</p> <p>今回は、本学卒業生に講師を務めてもらったことで、参加学生からは「実際に同じ大学の卒業生の方からの話を聞けてとてもいい機会になった」「すごくアットホームな雰囲気でも分かりやすかったです」などより関心を高めてもらうことに貢献したと考えている。参加者のべ45名のうち、30名が当該職種に関心を持ったとの回答であった。特に、1社については本研究会に参加する前は半数名しか知らなかった状態であったが、7割近くの人数が関心を持つまでに至った。とくに県外学生が富山の企業に興味をもってくれた傾向がみられた。昨年度と比較して令和4年度卒業生については県内就職率が10ポイント上昇し前年度からの取り組みに一定の効果がみられたが、いまだ学生が独力では本学科と関連のある県内企業の情報を十分に得られていないことが明らかとなった。</p>			
今後の展開			
<p>アンケートでは、卒業生からの話を聞くことができ有用であった、今後もこの企業研究会を継続して欲しい、との回答であったことから、県内企業を知る上で、本学学生にとって有益な機会となったことは間違いない。次年度以降も関連企業を選定して継続実施し、学生への情報提供の場を積極的に設ける必要があると考えている。</p>			